

平成23年度における実施状況 (速報版:第1～第3四半期)について



目 次

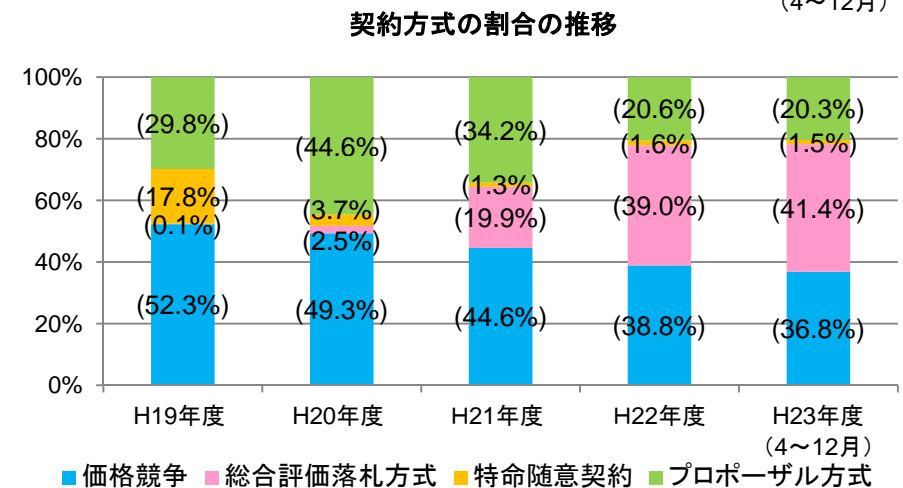
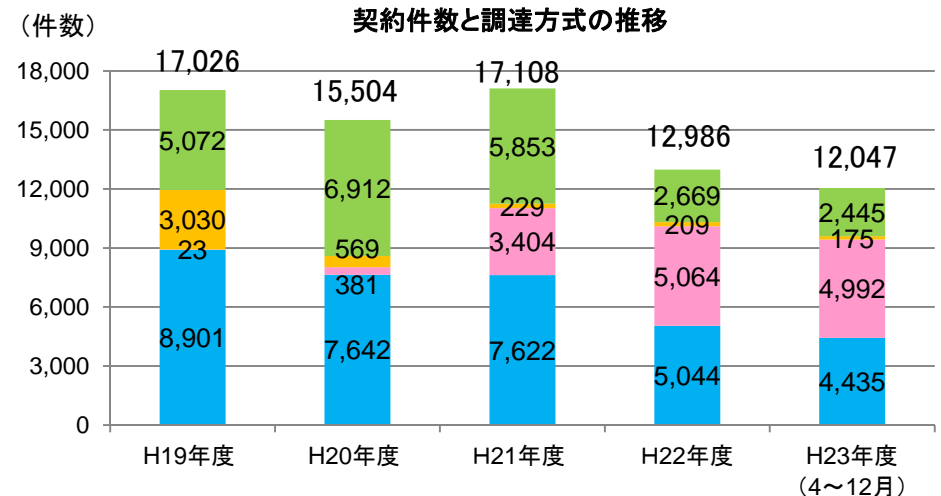
調査・設計等分野の全契約状況(発注件数内訳)	p.1
調査・設計等分野における低入落札発生状況(全契約方式の比較)	p.3

●調査・設計等分野の契約状況

- ・発注件数は、平成23年4～12月期で既に前年度(年間)に迫っており、補正予算等の影響もあり、23年度末では前年度を上回る見通し。
- ・価格競争、総合評価、プロポーザルの比率はほぼ前年並みだが、前年からの変化を見ると価格競争が減少し、総合評価が増加傾向にある。

地方整備局等(港湾空港除く)における契約状況

	(件数)				
	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度(4~12月)
プロポーザル方式	5,072 (29.8%)	6,912 (44.6%)	5,853 (34.2%)	2,669 (20.6%)	2,445 (20.3%)
特命随意契約	3,030 (17.8%)	569 (3.7%)	229 (1.3%)	209 (1.6%)	175 (1.5%)
総合評価落札方式	23 (0.1%)	381 (2.5%)	3,404 (19.9%)	5,064 (39.0%)	4,992 (41.4%)
価格競争	8,901 (52.3%)	7,642 (49.3%)	7,622 (44.6%)	5,044 (38.8%)	4,435 (36.8%)
合計	17,026	15,504	17,108	12,986	12,047



※対象は北海道開発局および8地方整備局の業務

※6業種(土木コンサル、測量、地質調査、建築、補償、発注者支援)

(参考)

4～12月の3四半期までの比較

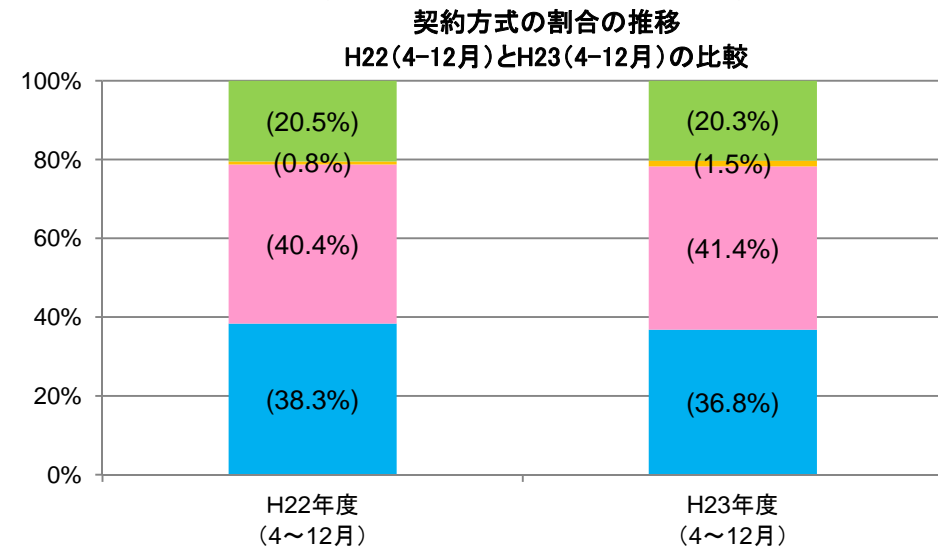
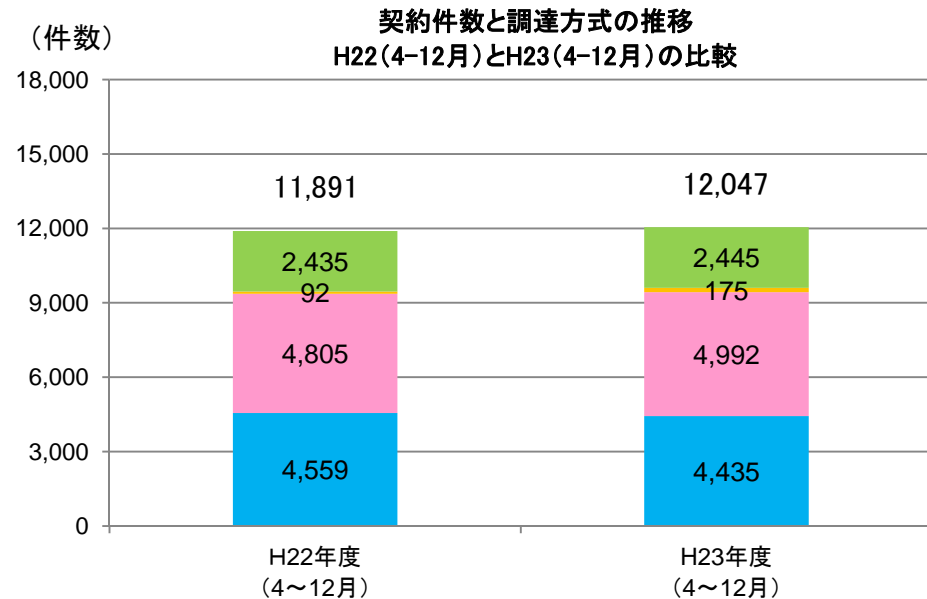
地方整備局等(港湾空港除く)における契約状況

(件数)

	H22年度 (4～12月)	H23年度 (4～12月)
プロポーザル方式	2,435 (20.5%)	2,445 (20.3%)
特命随意契約	92 (0.8%)	175 (1.5%)
総合評価落札方式	4,805 (40.4%)	4,992 (41.4%)
価格競争	4,559 (38.3%)	4,435 (36.8%)
合計	11,891	12,047

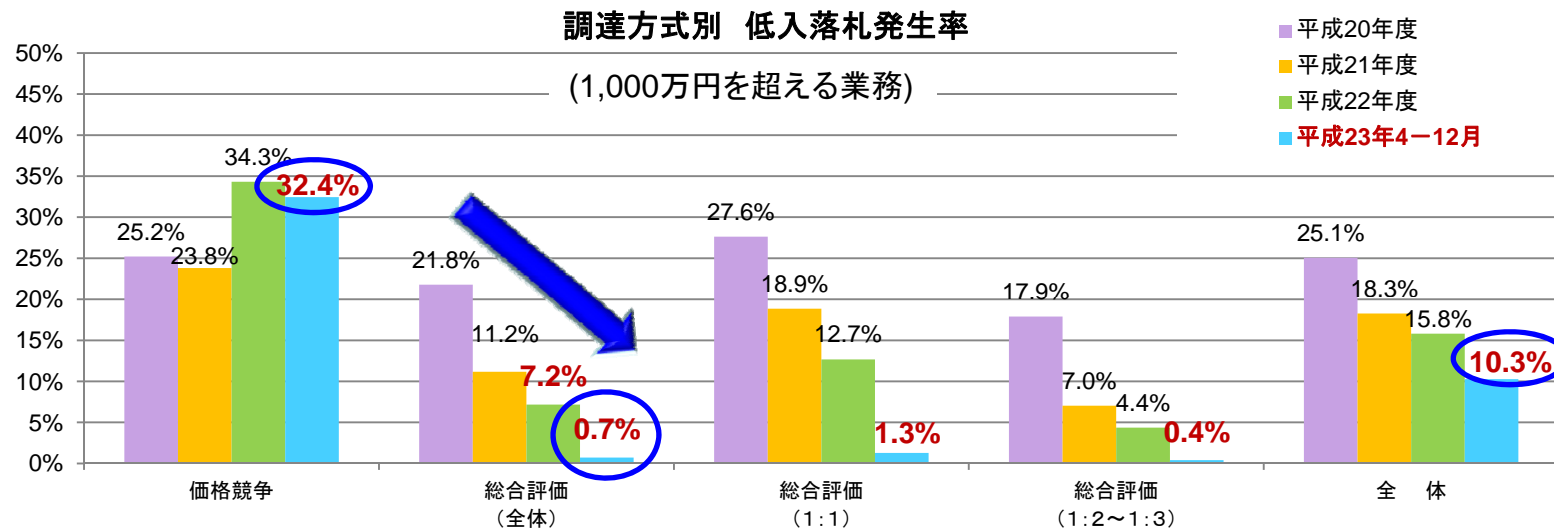
※対象は北海道開発局および8地方整備局の業務

※6業種(土木コンサル、測量、地質調査、建築、補償、発注者支援)



■ 価格競争 ■ 総合評価落札方式 ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式

- ・平成23年度(4月～12月期)は前年度に比して総合評価落札方式の低入落札発生率が7.2%から0.7%に大きく減少しており、履行確実性評価の対象を1,000万円超の業務に拡大した効果がうかがえる。
- ・価格競争の低入落札発生率は32.4%と依然高いが、全体(価格競争+総合評価)では、10.3%へ減少している。これは価格競争の業務件数が減少したことによる。



		価格競争	総合評価(全体)	総合評価(1:1)	総合評価(1:2~1:3)	全体
平成23年(4-12月)	対象業務件数	1849	4298	1565	2733	6,147
	低入落札件数	600	31	20	11	631
平成22年度	対象業務件数	1,958	4,195	1,421	2,774	6,153
	低入落札件数	672	301	180	121	973
平成21年度	対象業務件数	3,780	2,946	1,029	1,917	6,726
	低入落札件数	900	329	194	135	1,229
平成20年度	対象業務件数	7,642	381	152	229	8,023
	低入落札件数	1,927	83	42	41	2,010

※分析対象は、全6業種(土木、測量、地質、建築、補償、発注者支援)の価格競争及び総合評価落札方式で調査基準価格が設定されている業務(1,000万円超)